

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況(技術情報第2号)について(送付)
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

麦類の赤かび病は平年と比較してやや多の発生である。
一部のほ場では発病程度が高い穂も散見されるため、収穫以降の対策を徹底する。

記

1 麦類赤かび病の発生状況の調査概要(別紙)

- (1) 5月6日、11日及び12日に、県内の麦類赤かび病の発生状況調査を、小麦26ほ場、大麦12ほ場で行った。
- (2) 小麦では、発病穂率3.3%(平年1.4%)、発生ほ場率84.6%(平年38.0%)、発病度0.60(平年0.27)で、平年比やや多の発生であった。また発病が確認されたほ場では、発病程度が高い穂が散見された。
- (3) 大麦では、発病穂率2.0%(平年0.8%)、発生ほ場率41.7%(平年22.2%)、発病度0.33(平年0.13)で、平年比やや多の発生であった。しかし、発病した穂の被害粒は1~2粒程度と発病程度は軽かった。

2 今後の留意点

赤かび病の発病程度は軽いが、発生は平年比やや多であるので、多発したほ場では下記の対策を徹底する。

- (1) 刈り遅れると、赤かび病菌が産生するかび毒(DON)の含有濃度が高くなる傾向があるため、適期に収穫する。
- (2) 収穫時にはほ場を確認し、赤かび病の発生ほ場で倒伏がみられた場合は、かび毒汚染の可能性が高くなるため、可能な限り他の麦とは分けて収穫する。
- (3) 共同乾燥施設においては、荷受時に赤かび病被害粒のチェックを行い、被害粒がみられた場合は、必要に応じてその他の麦とは別に乾燥するなどの仕分けを行う。
- (4) 赤かび病被害粒は粒厚が薄く、また比重が軽い傾向があるため、粒厚選別や比重選別により被害粒除去に努める。

(参考)

- 1) 麦類の病気の一つである赤かび病は、フザリウムというかびが原因であり、かび毒であるデオキシニバレノール(Deoxynivalenol: DON)を作ります。
- 2) 平成15年産麦(大麦を含む)からは、農産物検査規格のうち食用麦の赤かび病被害粒の混入率が、これまでの1.0%から0.0%に引き下げられました。また、食品衛生法に基づき、小麦についてデオキシニバレノール(DON)を1.0mg/kgを超えて含有するものであってはならない旨の成分規格が新たに設定され、令和4年4月1日から適用されました。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター生産環境研究所)
担当: 清永 TEL 096-248-6490

令和4年(2022年) 麦類赤かび病の調査結果

調査日: 令和4年5月6,11,12日

小麦(生育ステージ:乳熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	熊本市富合町新1	1	99	1	0	0	0.17
2	" " 新2	1	99	1	0	0	0.17
3	熊本市城南町碓1	1	99	1	0	0	0.17
4	" " 碓2	2	98	2	0	0	0.33
5	玉名市北牟田1	2	98	2	0	0	0.33
6	" 北牟田2	4	96	4	0	0	0.67
7	玉名市高道1	6	94	6	0	0	1.00
8	" 高道2	4	96	4	0	0	0.67
9	山鹿市南島1	3	97	3	0	0	0.50
10	" 南島2	5	95	5	0	0	0.83
11	山鹿市鹿本町小嶋1	1	99	1	0	0	0.17
12	" 小嶋2	4	96	4	0	0	0.67
13	菊池市七城町高島1	2	98	2	0	0	0.33
14	" 高島2	4	96	3	1	0	1.00
15	菊池市今1	4	96	4	0	0	0.67
16	" 今2	2	98	2	0	0	0.33
17	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
18	" 新2	1	99	1	0	0	0.17
19	御船町小坂1	9	91	9	0	0	1.50
20	" 小坂2	11	89	11	0	0	1.83
21	甲佐町糸田1	7	93	5	2	0	1.83
22	" 糸田2	9	91	9	0	0	1.50
23	嘉島町上六嘉1	4	96	4	0	0	0.67
24	" 上六嘉2	0	100	0	0	0	0.00
25	氷川町若洲1	0	100	0	0	0	0.00
26	" 若洲2	0	100	0	0	0	0.00
	平均値	3.3	発生ほ場率 84.6%				0.60
	平年値(過去10年)	1.4	" 38.0%				0.27

大麦(生育ステージ:黄熟期)

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	山鹿市南島1	12	88	12	0	0	2.00
2	" 南島2	9	91	9	0	0	1.50
3	菊池市七城町砂田1	1	99	1	0	0	0.17
4	" 砂田2	0	100	0	0	0	0.00
5	菊池市今1	0	100	0	0	0	0.00
6	" 今2	1	99	1	0	0	0.17
7	大津町新1	1	99	1	0	0	0.17
8	" 新2	0	100	0	0	0	0.00
9	あさぎり町免田1	0	100	0	0	0	0.00
10	" 免田2	0	100	0	0	0	0.00
11	多良木町多良木1	0	100	0	0	0	0.00
12	" 多良木2	0	100	0	0	0	0.00
	平均値	2.0	発生ほ場率 41.7%				0.33
	平年値(過去10年)	0.8	" 22.2%				0.13

※1 1ほ場において100穂調査

※2 発病程度 0:発病無し ①:穂の1/3以下が発病 ②:穂の1/3~2/3が発病 ③:穂の2/3以上が発病

※3 発病度 = {6③+3②+①} / (6×調査穂数) × 100

参考

過去の麦類赤かび病の調査結果

小麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	2.2	0.36	74.1	5/7調査
H17年	1.5	0.25	68.0	5/10・11調査
H18年	2.8	0.41	66.7	5/11調査
H19年	1.6	0.28	58.3	5/7・8調査
H20年	0.6	0.15	28.0	5/7・8調査
H21年	0.0	0.01	3.3	5/7・8調査
H22年	1.0	0.19	26.7	5/6・7調査
H23年	0.4	0.07	23.1	5/10・16調査
H24年	2.6	0.45	61.5	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.7	5/8・14調査
H26年	0.2	0.04	19.2	5/14・16調査
H28年	3.0	0.51	65.4	5/11・18調査
H30年	2.8	0.47	61.5	5/10・18調査
R1年	1.1	0.19	50.0	5/8・9調査
R2年	1.0	0.44	30.8	5/7・8・14調査
R3年	0.1	0.01	7.7	5/10・11調査
平年値(10年間)	1.4	0.27	38.0	H24～R3(H27・29は除外)
R4年	3.3	0.60	84.6	5/6・11・12日調査

大麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	1.1	0.18	28.6	5/7調査
H17年	0.6	0.11	36.4	5/10・11調査
H18年	1.3	0.21	50.0	5/11調査
H19年	0.4	0.07	35.7	5/7・8調査
H20年	0.1	0.01	7.1	5/7・8調査
H21年	0.0	0.00	0.0	5/7・8調査
H22年	0.0	0.00	0.0	5/6・7調査
H23年	0.2	0.04	14.3	5/10・16調査
H24年	0.9	0.14	28.6	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.1	5/16・18調査
H26年	0.0	0.00	0.0	5/14・16調査
H28年	1.3	0.21	50.0	5/11・18調査
H30年	2.6	0.43	50.0	5/10・18調査
R1年	1.0	0.17	33.3	5/8・9調査
R2年	0.5	0.08	8.3	5/7・8調査
R3年	0.0	0.00	0.0	5/10・11調査
平年値(10年間)	0.8	0.13	22.2	H24～R3(H27・29は除外)
R4年	2.0	0.33	41.7	5/6・11・12日調査